

関西国際協力協議会 設立趣意書

関西国際協力協議会は、日本で最初のNGO sの協議体として発足しました。その母体は、1985年発足の「関西NGO連絡会」で、その後のNGOの社会的発展と国際理解・国際協力の社会的気運の高まりを受け、従前の事務連絡レベルの関係から一步踏み出した第三世界のヒューマン・ディベロップメントのために積極的、実質的な協議会結成の働きとなり、同連絡会の11団体により1987年6月に設立されました。

組織の目的は、関西に活動拠点を置く国際協力援助団体が相互に協議を深め、第三世界の貧困からの解放、社会正義の実現、人間の基本的ニーズを充足させるための運動を発展させることを目指しています。

私たちはこれらの目的を実現するために、(1) 団体会員間の連帯を深める事業 — 共同プログラムの実施（開発教育・人材教育） (2) 団体会員の国際協力事業の推進 — 国際協力援助事業に関する調査・研究・情報収集と提供・啓蒙・啓発 (3) その他本会の目的達成に必要な事業 など、NGO sの相互の情報交換、人材の育成、財政の確立のための研究実践、協力活動の専門化のための調査・研究を進めています。

主な活動として、1987年から実施している関西NGO大学があります。これは1泊2日全6回コースを基本とした参加型学習セミナーです。NGOの人材育成、NGOの運動に興味関心のある人々の発掘、ひいては市民の間に国際協力の望ましいあり方を理解する動きが生み出されることを願い、毎年実施しています。

*なお、1994年に名称を「関西NGO協議会」に変更しました。